

食道癌におけるがん免疫微小環境の解明研究

1. 研究の対象

2019年12月1日以前に当院又は大阪国際がんセンターにおいて食道癌と診断され治療を受けられた方(試料のない症例は除外)

2. 研究目的・方法

現在、食道癌の多くが手術前に化学療法もしくは化学放射線療法を行うことが一般的になってきています。しかし、それら術前治療の正確な治療効果の予測や予後の予測は難しく、治療前の予測システムやマーカーは未だ確立されていません。

近年、がんに対する免疫治療の開発がすすみがんを取り巻く免疫微小環境が着目されるなか、とくに腫瘍浸潤リンパ球や3次リンパ様構造などの免疫細胞の腫瘍への浸潤が予後や治療効果と関連すると特定の癌種において報告されています。そこで、食道癌においても、腫瘍におけるこれらを含む様々ながん免疫微小環境関連因子が予後および治療効果と関連するかどうかを明らかにし、最終的には臨床の現場での応用を目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術で切除した検体および内視鏡での生検検体の余剰の腫瘍包埋パラフィンブロックを使用します。また生存や再発の有無などを含む臨床病理学的因子についての情報を同時に用います。

4. 外部への試料・情報の提供

大阪国際がんセンターと共同研究であり、大阪大学との2施設間でのみ試料、情報の提供を行います。

5. 研究組織

大阪大学医学系研究科 外科学講座消化器外科学：教授 土岐 祐一郎(研究責任者)

大阪国際がんセンター：主任部長 宮田 博志(共同研究責任者)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんから拒否の申し出があった場合には研究対象から除外させていただきますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

研究責任者：大阪国際がんセンター・主任部長 宮田 博志(共同研究責任者)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 TEL 06-6879-3251

研究責任者：大阪大学医学系研究科 外科学講座消化器外科学・教授 土岐 祐一郎

研究事務局代表者：大阪大学医学系研究科 外科学講座消化器外科学・助教 牧野 知紀
大阪大学医学系研究科 外科学講座消化器外科学・大学院生 野間 俊樹

第1版 令和2年 1月9日

第2版 令和3年 6月23日